

# 県民の安心感に関するアンケート調査結果（平成30年度）

## 1 趣旨

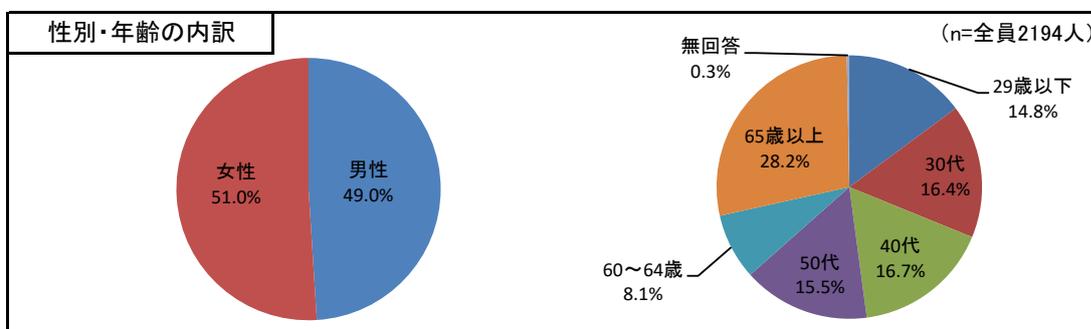
第4期アクション・プランの運動目標に掲げた「体感治安の向上」の達成状況を確認するとともに、目標達成に向けた取組の一層の推進を図るため、地域住民に対するアンケート調査を行ったもの。

### 【把握すべき事項】

- ① 体感治安の現状
- ② 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪
- ③ 刑法犯認知件数の認知度とリスク認知度の関係性
- ④ 防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態
- ⑤ 体感治安に影響を与えるその他の要因
- ⑥ 警察の取組に関する認知度

## 2 調査方法

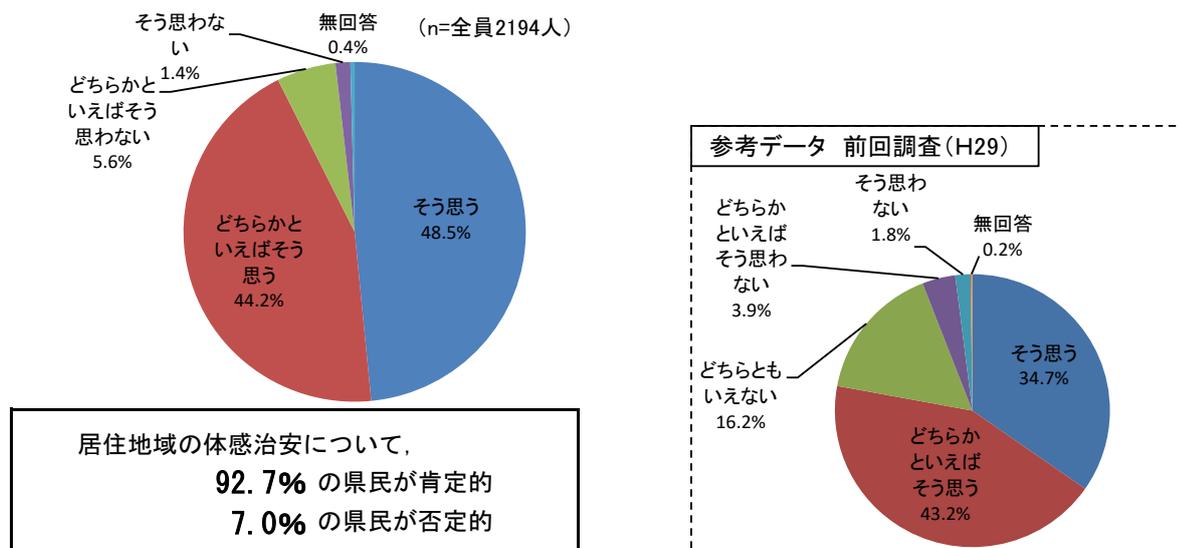
- サンプル数：2,194人
- 実施期間：平成30年9月22日～10月9日
- 調査方法：交番・駐在所に勤務する警察官が受持区域の住宅等を個別訪問するなどして実施。



## 3 調査結果

### ① 体感治安の現状

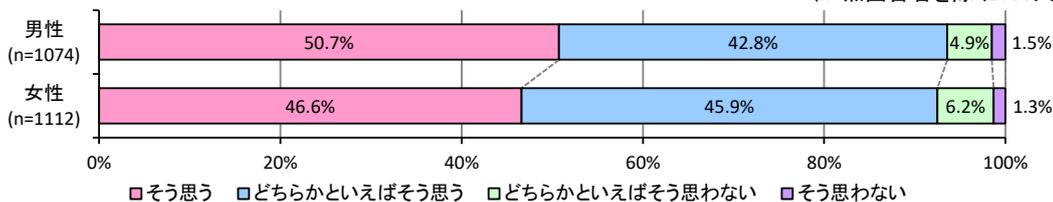
問 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



## 属性別の体感治安

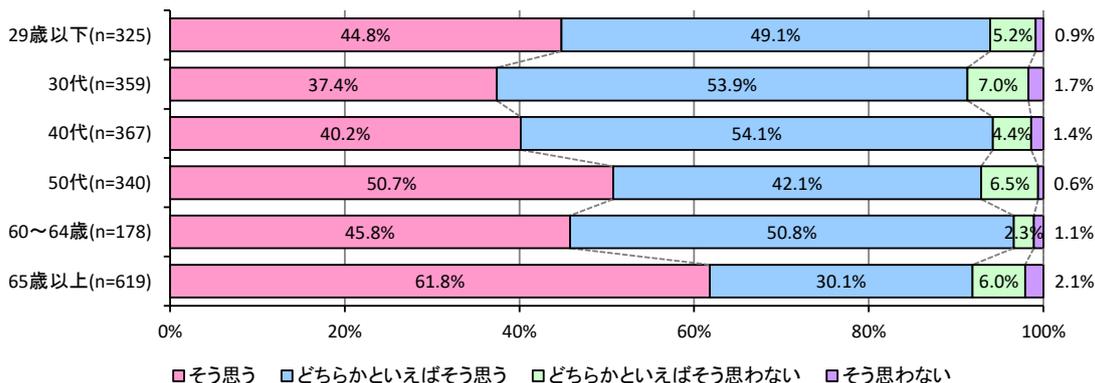
**男女別** 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。(以下同じ)

(n=無回答者を除く2186人)



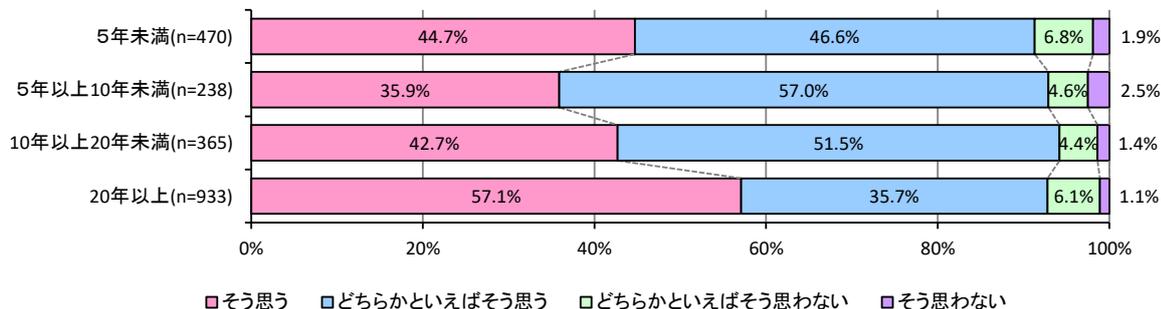
## 年齢別

(n=無回答者を除く2180人)



## 居住年数別

(n=無回答者を除く1998人)



- 男女別では、「そう思う」と回答した女性は男性と比べて4.1ポイント低い。
- 年齢別では、「そう思う」と回答した割合は、65歳以上、50代で高い。
- 居住年数別では、「そう思う」と回答した5年以上10年未満の人は20年以上の人と比べて21.2ポイント低い。

### 治安良好と思わないと回答した理由

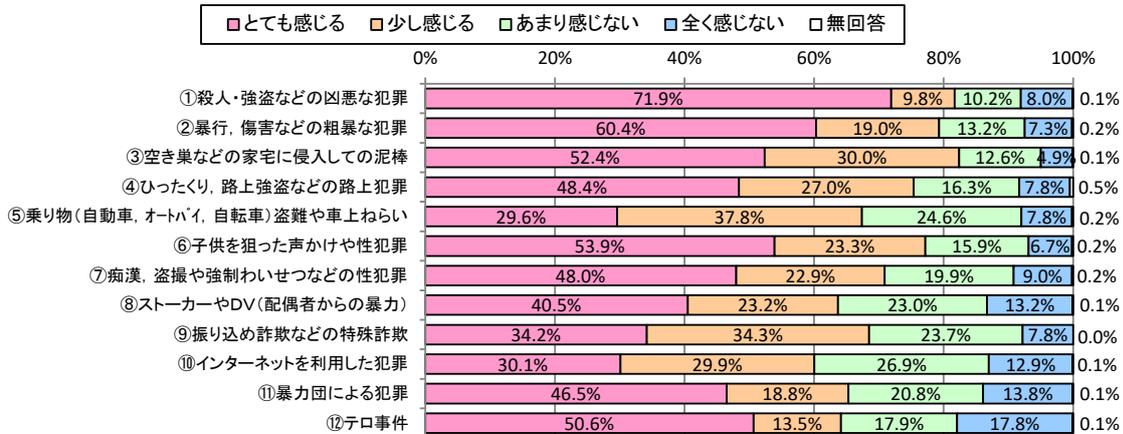
(n=「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した153人)

人のモラルが低下した(交通違反・マナー違反・迷惑行為が増えた)	22人
不審者(情報)が増えた	16人
地域の連帯感が希薄になった(知らない人が増えた、近隣トラブルがある)	16人
本人や身近な人が犯罪被害に遭った、遭いそうになった(アポ電等)	16人
暴走族やバイクの音がうるさい、少年がたむろしている・深夜徘徊等	15人
質問した地域内で実際に犯罪が発生した	11人
交通事故が増えた・交通量が増えた	7人
空き家が増えた、過疎化が進んだ・街灯等の防犯施設	6人
来日・在日外国人が増えた	5人
犯罪被害に遭うことに対する漠然とした不安感(何となく)	5人
高齢化が進んだ・独居の増加	4人
警察活動(パトカーのサイレンの音をよく聞く・警察官を見かけない等)	5人
身近な犯罪(ひったくり、空き巣等)の報道が多い	2人
身近な犯罪(ひったくり、空き巣等)が増えた(感じがする)	1人
子供を狙った犯罪(性犯罪・声かけ事案、児童虐待等)の報道が多い	1人
高齢者を狙った犯罪(特殊詐欺、悪質商法等)の報道が多い	1人
犯罪全般の報道が多い	1人
子供を安心して遊ばせられない(登下校時の環境を含む)	1人
その他	26人
無回答	18人

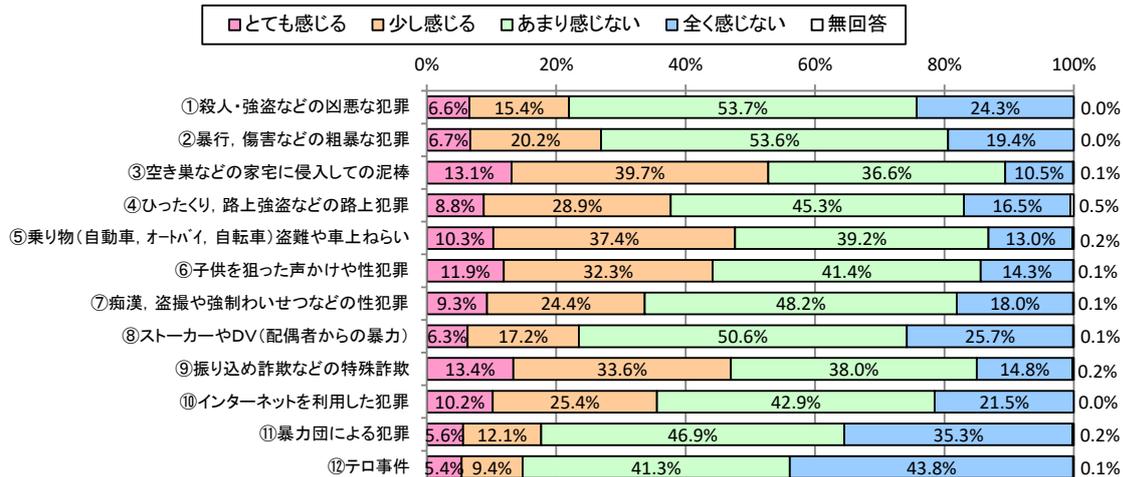
※ フリーアンサーで得た回答を複数回答で分類したもの。

## ② 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪

問 あなたは、次の犯罪に対して、どの程度「怖い」と感じますか。【犯罪脅威度】



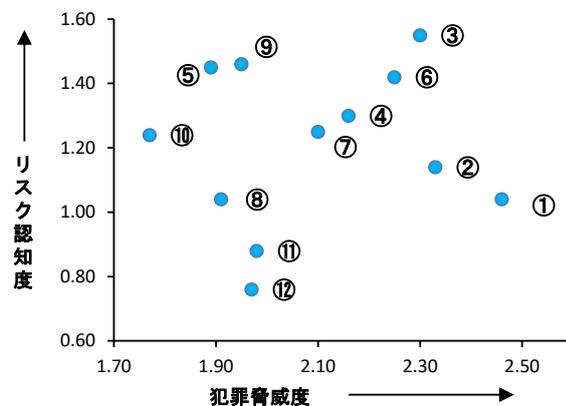
問 あなたは、お住まいの地域で、次の各々の犯罪に対して、「自分や身近な人が被害にあう可能性」をどの程度感じますか。【リスク認知度】



### 犯罪脅威度×リスク認知度

犯罪	犯罪脅威度	リスク認知度
①殺人・強盗などの凶悪な犯罪	2.46	1.04
②暴行、傷害などの粗暴な犯罪	2.33	1.14
③空き巣などの家宅に侵入しての泥棒	2.30	1.55
④ひったくり、路上強盗などの路上犯罪	2.16	1.30
⑤乗り物盗難や車上ねらい	1.89	1.45
⑥子供を狙った声かけや性犯罪	2.25	1.42
⑦痴漢、盗撮や強制わいせつなどの性犯罪	2.10	1.25
⑧ストーカーやDV(配偶者からの暴力)	1.91	1.04
⑨振り込め詐欺などの特殊詐欺	1.95	1.46
⑩インターネットを利用した犯罪	1.77	1.24
⑪暴力団による犯罪	1.98	0.88
⑫テロ事件	1.97	0.76

感じる」=2点、「とても感じる」=3点として算出した加重平均値。

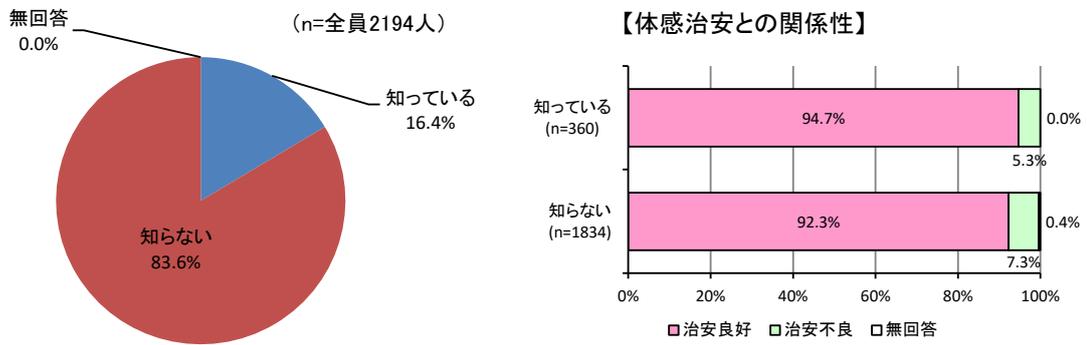


身近な犯罪(③侵入窃盗、④街頭犯罪など)や⑥子供・女性を狙った犯罪などが、犯罪脅威度(犯罪そのものの怖さの程度)とリスク認知度(被害に遭う可能性を感じる程度)がともに高い。

一方で、⑧ストーカーやDVの犯罪脅威度は高いがリスク認知度が低く、逆に⑩インターネットを利用した犯罪はリスクは認知はされているが、脅威度は低いと感じられている。

### ③ 刑法犯認知件数の認知度とリスク認知度の関係性

問 昨年、広島県では刑法犯認知件数が10年前と比べてほぼ半減していることを知っていますか。



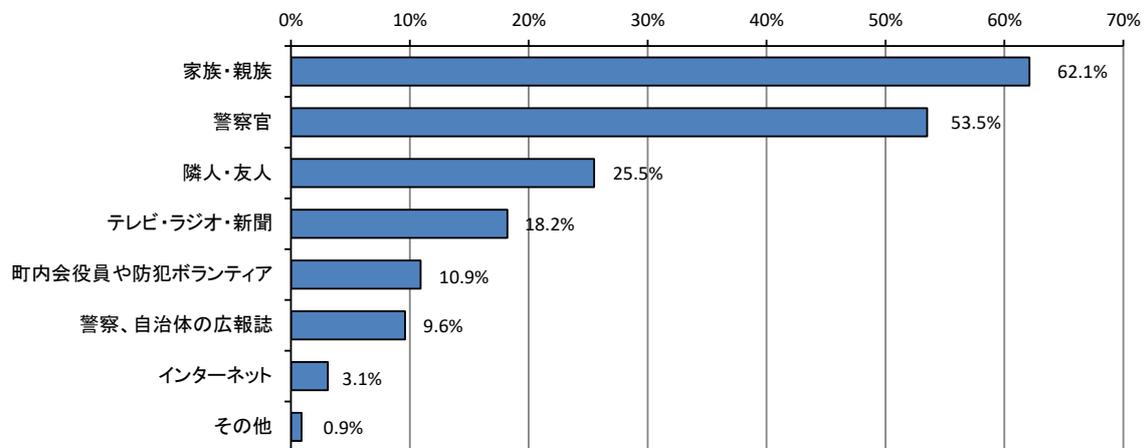
刑法犯認知件数の認知度は16.4%である。

体感治安との関係性を認知度別で見ると、知っていると回答した人は知らないと回答した人と比べて2.4ポイント高い。

### ④ 防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態

問 あなたは、誰(何)からの注意喚起なら防犯行動をとりますか。

(n=無回答者を除く2069人)

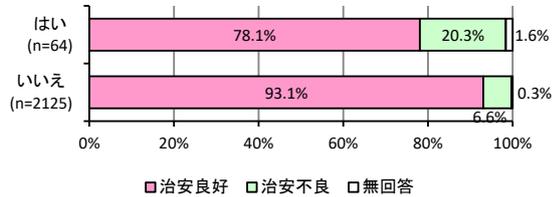


防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態は、家族・親族、警察官、隣人・友人が上位に上がっている。

## ⑤ 体感治安に影響を与えるその他の要因

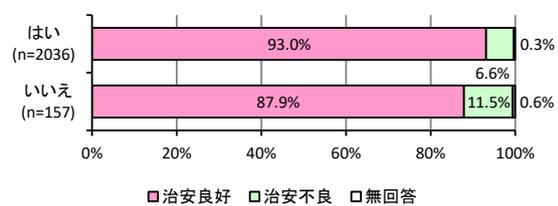
この1年間に、犯罪の被害  
にあったことがある

はい 2.9% いいえ 96.9% 無回答 0.2%



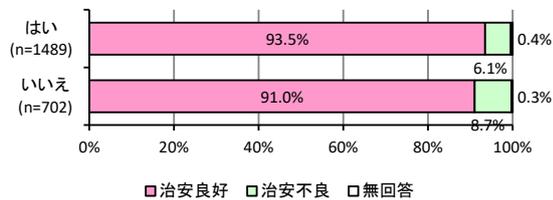
携帯電話やスマートフォンを持っている

はい 92.8% いいえ 7.2% 無回答 0.0%



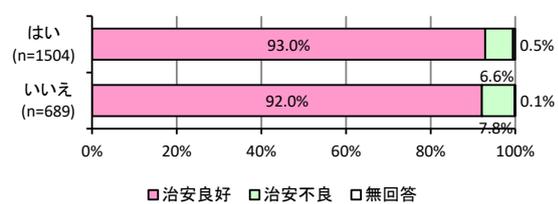
今の住まいは、一戸建てである

はい 67.9% いいえ 32.0% 無回答 0.1%



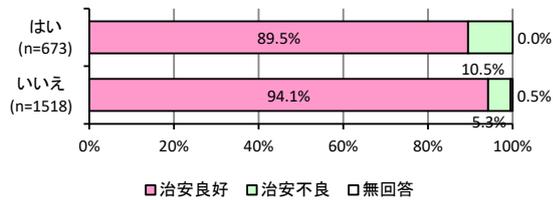
今の住まいは、持ち家である

はい 68.6% いいえ 31.4% 無回答 0.0%



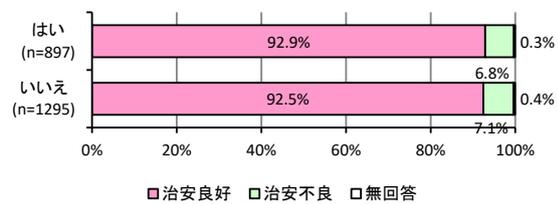
近所づきあいは、ほとんどない

はい 30.7% いいえ 69.2% 無回答 0.1%



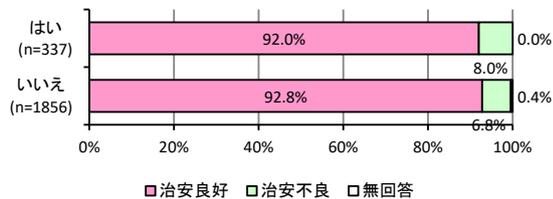
フルタイムで仕事をしている

はい 40.9% いいえ 59.0% 無回答 0.1%



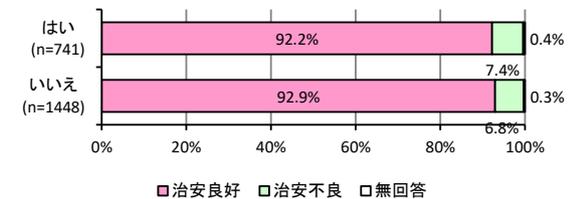
一人住まいである

はい 15.4% いいえ 84.6% 無回答 0.0%



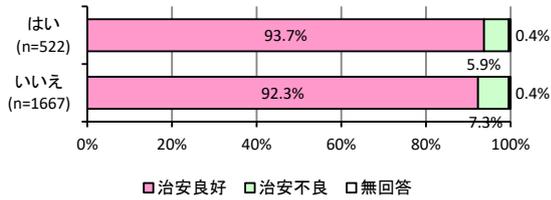
65歳以上の高齢者と同居している

はい 33.8% いいえ 66.0% 無回答 0.2%



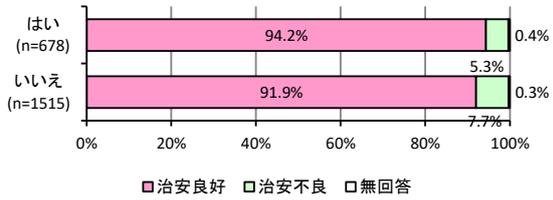
小学校6年生以下の子どもと同居している

はい 23.8% いいえ 76.0% 無回答 0.2%



地域住民による自主的な防犯活動に参加したことがある

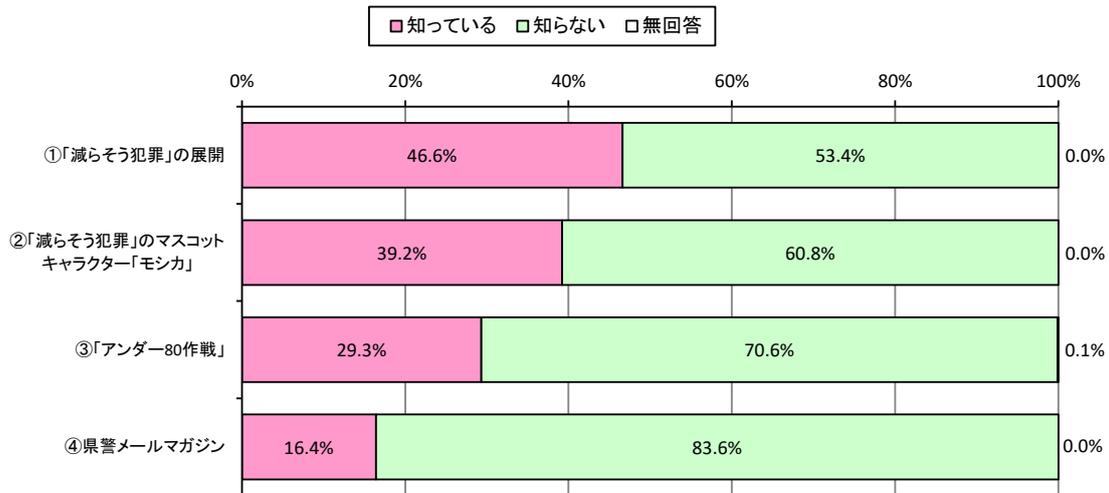
はい 30.9% いいえ 76.0% 無回答 0.2%



調査した環境要因のうち、治安良好と感じる割合に悪影響を与えるものは、順に

- ①この1年間に、犯罪の被害にあったことがある（治安良好と感じる割合の差 -15.0p）
  - ②近所づきあいは、ほとんどない（同上 -4.6p）
- となっている。

⑥ 警察の取組に関する認知度



「減らそう犯罪」の展開、「減らそう犯罪」のマスコットの認知度は4割前後となっているが、県警メールマガジンの認知度は2割を下回っている。